

平成 30 年度第 3 回富津市創生会議 会議録 (要旨)

1 会議の名称	平成 30 年度第 3 回富津市創生会議
2 開催日時	平成 31 年 3 月 27 日 (水) 午後 2 時 00 分～午後 4 時 30 分
3 開催場所	富津市役所 5 階 502・503 会議室
4 審議等事項	1 富津市まち・ひと・しごと創生総合戦略の改定について 2 富津市まち・ひと・しごと創生総合戦略実行計画 (平成 31 年度当初予算版) について
5 出席者名	富津市創生会議委員 (10 名) 青木 一美、オノミチ 三由紀、小泉 晴信、島野 勝弘、 鈴木 裕士、鈴木 文江、武次 治幸、鳥飼 尚、 森田 泰彰、山口 拓也 事務局 (9 名) 市長 高橋 恭市、副市長 小泉 義行、 総務部長 白石 久雄、総務部次長 秋嶋 隼人、 企画課長 坂本 秀則、企画課企画係長 田内 友臣、 企画課主任主事 山田 誠、企画課主任主事 鶴岡 隆樹、 企画課主事 坂本 由紀子 事業担当課 (45 名)
6 公開又は非公開の別	公開 ・ 一部公開 ・ 非公開
7 非公開の理由	富津市情報公開条例第 23 条第 号に該当 (理由)
8 傍聴人数	5 人 (定員 20 人)
9 所管課	総務部企画課企画係 電話 0439-80-1223
10 会議録 (発言の内容)	別紙のとおり

上記会議の経過を記載し、事実と相違ないことを証するためにここに署名する。

平成 年 月 日

富津市創生会議 会議録署名人

会議録署名人

平成 30 年度第 3 回富津市創生会議 会議録（要旨）

発言者	発言内容
	<p>1 開会</p> <p>2 市長あいさつ</p> <p>3 会長あいさつ</p> <p>会議録の確定について 会長の指名した委員による承認を採用 会議録署名人は下記のとおり 鈴木（裕）委員、鈴木（文）委員</p>
武次会長	<p>議題（１）に入る前に、会議の趣旨及び議事進行について、事務局から説明を求める。</p>
事務局	<p>本日の会議の趣旨は、議題（１）の富津市まち・ひと・しごと創生総合戦略の改定について、その改定趣旨及び内容を説明させていただくことと、議題（２）の富津市まち・ひと・しごと創生総合戦略実行計画（平成 31 年度当初予算版）について、各事業の平成 31 年度目標値に対する達成度、取組状況について、委員の皆様から、ご意見・ご質問をいただき、今後の事業実施に当たり、改善方策としてとりまとめるものである。</p> <p>議事進行は、議題（１）を説明した後、議題（２）に入り、総合戦略の 4 つの基本目標ごとに議論していただきたい。委員の皆様からのご意見・ご質問については同席している事業担当課が対応させていただくが、委員の皆様同士で意見を交わしていただいても構わない。</p> <p>次に、議題（１）及び（２）以外の資料の説明をする。</p> <p>資料 1 「平成 31 年度施政方針」について説明 参考資料の市民アンケート調査報告書、市外居住者アンケート調査報告書及び平成 30 年度富津市民委員会報告書について説明 以上で説明を終了する。</p>
武次会長	<p>事務局の説明に対し、質問はあるか。</p>
委員	<p>特になし</p>
	<p>4 議題 （１）富津市まち・ひと・しごと創生総合戦略の改定について</p>
武次会長	<p>それではまず、議題（１）富津市まち・ひと・しごと創生総合戦略の改定について、事務局の説明を求める。</p>
事務局	<p>資料 2 及び 3 により、総合戦略の改定趣旨及び内容並びに本改定に伴う資料を「資料編」に追加することについて説明</p>

武次会長	事務局の説明に対し、質問はあるか。
委員	特になし
武次会長	特に質問がないようなので、以上で議題（１）富津市まち・ひと・しごと創生総合戦略の改定については終了する。 続いて、議題（２）富津市まち・ひと・しごと創生総合戦略実行計画（平成 31 年度当初予算版）について、事務局からの説明を求める。
事務局	平成 31 年度当初予算版は、昨年度末に作成した平成 30 年度当初予算版の実行計画について、シート内の年度別事業内容、成果目標値達成に向けた取組、事業成果等を、平成 31 年度当初予算等の内容に更新し、各事業の平成 31 年度目標値に対する達成度、取組状況についてとりまとめたものである。 事業費及び事業内容については、平成 30 年度は決算見込み、平成 31 年度は当初予算・事業の内容となっている。 以上で説明を終了する。
武次会長	それでは最初に、基本目標 1 について質問、意見はあるか。
山口委員	資料 4 の 10 ページの広報「ふつつ」関係費、市ホームページ管理事業について、フェイスブック自体が若干ブームも去っていると思うが、今後も同じような予算感でやっていくのか。フェイスブック以外の SNS を新たに投入するのか、また、予算を投入しないのであれば、フェイスブック自体の予算を減らすのか。
秘書広報課	フェイスブックについては、現在経費はかかっていない。市のホームページについては、リニューアルを行い 5 年間の長期継続契約であり、表記金額となっている。なお、前年度と違う点は、グーグルマップの仕様が変更になり、その使用料が一部かかるようになったため、若干の増額となっている。
鳥飼委員	資料 4 の 11 ページの文化財来訪者数の目標値について、実績の確認はどのようにされているのか。
生涯学習課	文化財来訪者数を確認する方法としては、市の専門職が見学者等の立会いや解説員を依頼された件数をカウントしている。
鳥飼委員	予約をせずに来訪した方は、この他にもっといるという認識でよろしいか。
生涯学習課	そのとおりである。
島野委員	文化財来訪者数をカウントしている文化財のリストがあると思うが、

	市の文化財のどのくらいの割合をカバーしているのか。
生涯学習課	市内でも国指定、県指定、市指定、登録の文化財等もあるが、その中で、来訪者数があり、説明を求められるものとしては主に内裏塚古墳などである。
島野委員	資料4の13ページの市民活動支援事業について、ボランティア活動計画書とは、どのような活動に対して計画を出せばよいのか。
市民活動推進室	ボランティア活動計画書は、地区の清掃活動等のボランティア活動をする際に提出してもらおう。提出されるボランティア活動としては、清掃活動が多い。
島野委員	市民活動災害補償保険とは、どういう範囲の市民活動に対して補償されるもので、この保険を活用したい場合には、事前の手続き等は必要か。
市民活動推進室	市民活動災害補償保険は、市内に活動の拠点を置いている団体や個人ボランティアが、無報酬で自主的かつ計画的に行う公共性のある活動に対してかけている保険である。事例は、地域社会活動として区の活動や清掃作業、社会福祉活動として在宅高齢者、障がい者の見回りなどがある。事前登録は、団体の場合は不要で、個人ボランティアの方は、ボランティア活動計画書を提出する際に、名前、住所、生年月日、性別等を書いた名簿を出していただくようになっている。
鈴木（裕）委員	市民活動をする上で、ボランティアを募集したい場合、相談できる窓口はあるのか。また、ボランティアに協力できる方についてリスト化されているのか。
市民活動推進室	現在は、そのような窓口は設けていない。来年度4月1日から、市民活動団体登録制度を開始する。この制度は、市民活動への積極的な参加に対する機会の拡大を図るために、市内で活動している市民活動団体やNPO団体などの情報を市ホームページに掲載し、団体のPRを行い、興味を持った市民に情報を提供するという内容になっている。登録については、登録団体の名前や活動内容、団体のPRを市民活動推進室の窓口に応じ、当室が市ホームページに掲載する予定である。
青木委員	資料4の25ページの消防団員の増員について、平成31年度で100人以上増えることになっている。過去に団員であった者を再入団させることと、女性を含めた団員の確保となっているが、どのような呼びかけをするのか。
総務予防課	消防団の募集等については、出初式などの会場におけるチラシ配布、市ホームページ、広報ふつつ等で募集している。平成31年度における100人の増加はあくまで目標であり、今のところそこまでは伸びていな

い。4月からOB団員を再入団させ、火災や大きな規模災害があったときに活動していただける団員である機能別団員という制度を設けた。まだ決定ではないが、今の状況だと、今までの団員の421名に、入団の希望がある機能別団員の59名を加えると、480名という数字になっている。

鳥飼委員

消防団員数定数が552名とあるが、消防団員の定数はどのように決めているのか。

総務予防課

定数については、地域性により必要な人数を決めている。

鳥飼委員

理想の人数という解釈でよろしいか。

総務予防課

地域を守るために必要な人数ととらえている。消防団員の定数は、3町が合併した当時は1,000名以上であったが、徐々に人数を減らし、今の552名というのが定数となっている。

鳥飼委員

資料4の17ページの老人クラブ活動事業について、老人クラブに加入できる老人の定義とは。何歳からが老人という決まりはあるのか。

介護福祉課

老人の定義は、65歳と設定している。

鳥飼委員

資料4の22ページの特定健康診査事業について、これまで目標値を設定してきた中で残念ながら目標値には達成していないが、平成31年度を52%とした根拠を教えてください。

健康づくり課

特定健診受診率は、特定健康診査等実施計画で定めていて、平成29年度は国の目標値の60%としていたが、実績が45.6%という状況から、平成29年度に策定した計画の中で、平成30年度を50%とし、その後、2%ずつ増やしていこうという目標を立てたため、平成31年度は52%にした。

鳥飼委員

今後、平成31年度、平成32年度と2%ずつ目標値を上げていくという解釈でよろしいか。

健康づくり課

そのとおりである。

武次会長

どこの市町村も目標値に達成してないのではないか。60%の目標値に達成しているところはあるか。

健康づくり課

県内ではない。

鈴木(裕)委員

資料4の11ページの文化財来訪者数、埋立記念館利用者数について、小学校で地域の歴史や特徴等を学ぶ機会などは、地域の愛着を育む上で非常に大切だと思うので、そのような目標値を入れてはどうか。

教育センター	現在、小学校低学年は生活科の学習、中学年及び高学年は総合的な学習等で地域を素材とした学習を進めている学校もある。今のところそれをどのくらいの割合で何校くらい実施しているかというのは把握していない。委員のおっしゃる目標値の追加については、今のところ実施する予定はないが、検討材料としたい。
鈴木（裕）委員	私は、金谷小学校で石の授業をやらせていただいている。地域に誇りを持つというのは地域のことをよく知ることだと思うので、ぜひ検討していただきたい。
島野委員	消防団員の定員について、地域防災計画に紐づいていると思うが、地域防災計画では、大地震が起きたときの消防団員の役割や最低必要団員数等についての考え方は計画に記載されているのか。
防災安全課	地域防災計画の中では、消防団員数の決め方や算出方法については、今のところ定めていない。
島野委員	消防団員数が減っていることもあり、消防団は大変だと思うが、いざというときに本当に駆けつけられる人数や稼働可能な人数はどれくらいなのか。
総務予防課	いざというときにどれだけ駆けつけられるかというのは、災害の状況によっても変わってくるが、不明である。日中、市外に仕事に出ている消防団員も多く、休日や夜間などによっても異なる。
島野委員	3町が合併した当時は、地元で仕事をしている人が多く、消防団員はたくさんいたと思う。また、昔は稼働率も高かったと思うが、最近は市外へ仕事に出ている人が多いので、いざというときに何人出動できるかが課題なのではないかと思う。
武次会長	これで基本目標1については終了し、次に基本目標2の質疑に移る。質問、意見はあるか。
鈴木（裕）委員	資料4の28ページの（仮称）浅間山バスストップ二次交通確保事業のカーシェアリングについて、具体的な内容を教えてほしい。
企画課	（仮称）浅間山バスストップから、市内の観光地等を結ぶ移動手段としてカーシェアリング事業における事業者の誘致を考えている。4車線化は今年中の完成を目指してネクスコで行われているので、完成が近づいてきたら事業者を募集し、誘致したいと考えている。
鈴木（裕）委員	事業者を見つけて事業をやってもらうということか。
企画課	カーシェアリング事業者を募集して、誘致につなげたいと思っている。

鈴木（裕）委員	レンタカーのようなものだと思えばよいか。
企画課	一般的には、事前登録制になっている事業者が多い。事前に登録し、浅間山に停まっている車両を予約する。現地で会員証を車両にかざすとドアが解錠されて、利用できる。利用後は借りた場所に戻す仕組みである。レンタカーとは違い、事務所等が必要ない点、24時間パソコンやスマートフォンで事前に予約をできるところが利点である。
鈴木（裕）委員	利用後はまた戻って来なければいけないのか。
企画課	借りたところに戻すということになる。
鈴木（裕）委員	資料4の39ページに、移住及び就業に関する一定の要件を満たす東京圏からの移住者に対して補助金を交付するとあるが、具体的な説明をお願いしたい。
企画課	平成31年度から国の交付金及び県の補助金を活用し、千葉県内の条件不利地域が実施できる事業である。富津市は半島振興法により、条件不利地域に指定されているためこの事業の対象となる。補助対象者は、東京23区に5年以上居住していた、または東京23区に通勤していた方が、千葉県が開発をするマッチングサイト掲載されている千葉県内の条件不利地域の企業に就業した場合などの要件を満たし、富津市に移住すると、引越し費用等として最大100万円の補助金を交付するものである。予算の500万円は5件を見込んでいる。2人以上だと最大100万円であるが、単身の方の場合は最大60万円の補助が受けられるというものである。
鈴木（裕）委員	就業ということは、起業はだめなのか。
企画課	要件はあるが、起業でも対象となる。富津市に在住し、起業した場合は、県からの補助と併せて最大300万円の補助が受けられるものである。
武次会長	500万円の予算はついているのか。
企画課	平成31年度当初予算で措置している。
武次会長	富津市以外の他の市町村でもやっているのか。
企画課	この制度は、県内では半島振興法等による条件不利地域となる11市町と対象が限られており、君津地域4市では富津市のみである。
森田委員	資料4の39ページで、前回の会議のときには12月中に空き家バンクを立ち上げるということだったが、現在の状況は。
企画課	現在、空き家バンクの立ち上げ準備を進めており、新年度早々に立ち

	<p>上げる準備ができている。現在、要綱の最終調整及び社団法人千葉県宅地建物取引業協会南総支部との協定締結準備を同時に進めており、4月、5月を目途に立ち上げる準備をしている。</p>
森田委員	<p>今、富津市で就農したいという夫婦がいて、4月から移住してくるため空き家を探したが、なかなか見つからなかった。すぐに農業を始めるため、とりあえずアパートを借りることになった。空き家バンクの早急な立上げを期待している。</p>
小泉委員	<p>資料4の32ページの陸上競技場やテニスコートなどについて、そこには昔から人目につかない場所で危険な場所となっているところが多くある。防犯対策はどうなっているのか。</p>
都市政策課	<p>現在、指定管理者に樹木が覆い茂っている場所は、剪定するよう指導している。</p>
小泉委員	<p>消防団をやっているときに見回りの要請があり、見回りをしたことがあるが、木を切るだけではあの広さは見張れないと思うので、防犯カメラの設置等を検討していただきたい。</p>
都市政策課	<p>今後検討したいと思う。</p>
島野委員	<p>地域おこし協力隊の現在の活動状況を教えてほしい。</p>
企画課	<p>昨年7月に委嘱し、基本的には1日7時間45分、週5日という条件で勤務をお願いしている。</p> <p>具体的な活動内容は、平成28年度に地方創生加速化交付金を活用し、立ち上げた「富津市観光・しごと・移住推進プロジェクト」に携わり、その実施主体であるNPO法人オール富津情報交流センター（AFICC）とともに同プロジェクトを推進している。</p> <p>今年度の実績として、AFICCのホームページを整理し、本年2月にリニューアルをした。現在、市外の人に向けて、市の仕事に特化した情報をまとめたポータルサイトの作成を行っているところで、テストサイトが完成した状況である。今後はポータルサイトを練り上げ、遅くとも高校生の就職活動が活発化する7月までには完成させ、情報発信をしていきたいと考えている。また、市内で行われている各種イベント、就職説明会やAFICCが活動しているイベントに同行することで、地域活動にも携わっている。</p>
島野委員	<p>スタートしてから間もないので、成果を上げることは難しいと思っていたが、着実に進められている。私の友人にも別の自治体の地域おこし協力隊がいるが、任期を終えた後にその地元に着定できるのかが課題となっているので、ぜひ富津市の協力隊員も市に着定できるように、その方の仕事を作ってあげることなどができればよいのではと考えている。</p>

	<p>また、地域おこし協力隊員の情報発信力はかなり強く、ブログやフェイスブックなどに書かれている内容によっては自治体にとってマイナスなこともあり得るので、ぜひ良く書いてもらえるように支援されたい。</p>
鈴木（裕）委員	<p>鳥獣対策について、相模原市や鋸南町では地域のハンター以外にも、都会のジビエに興味のある方の力を借りて、イノシシや鹿を捕獲するという事業をやっていたが、富津市も検討してはどうか。</p>
農林水産課	<p>富津市では毎年1、2名程度ではあるが狩猟免許を取りジビエの捕獲活動をする人が増えている。免許取得者は若い方から中高年の方もいるが、年々増えている反面、退任する方も非常に多い。市では、免許取得に補助金を出すことで取得を推進しているが、なかなか増えていない状況である。</p> <p>また、富津市にはジビエの加工場がなく、放射線の規制もあり、なかなか進んでいない状況である。現在、有害獣の処理について、検討しているところなので、今後、近隣市の状況を聞きながら考えていきたい。</p>
鈴木（裕）委員	<p>鋸南町では、年に1回ジビエのバーベキューを開催して無料で町民に肉を振る舞うイベントを行っている。イベント化すれば参加者も楽しいと思うので、ぜひ検討してほしい。</p>
鈴木（文）委員	<p>資料4の28、29ページのバスストップについて、普段、竹岡の高速バスストップを利用しており、自分の車で行けるときは駐車場まで行くが、その手段がない方に対して他に何か手段はないのか。</p>
企画課	<p>高速竹岡及び上総湊駅前に房総なのはな号が停車しているが、バスストップ完成後も東京線については、今のところバス事業者との話の中では路線を残すという話で協議中である。</p>
鈴木（文）委員	<p>それは期限があるものなのか。当初なくなるという話を聞いていたが。</p>
企画課	<p>運行を開始した後に、利用者の推移を見ながら、市ではバス事業者と協議をしていく。事業者が利用者の推移を見ていくので、市も利便性向上に努めていく。</p> <p>房総なのはな号の停車については、協議中で確定事項ではないということをご理解いただきたい。</p>
鳥飼委員	<p>資料4の46ページについて、有害鳥獣の被害額が年々減っているが、これまでの取組みの成果なのか。</p>
農林水産課	<p>平成30年度及び31年度の被害額は、市で作成した鳥獣被害防止計画の中で、当時計画した数値である。見込みが少し甘かったと思う。</p>
鳥飼委員	<p>平成30年度の実績見込みは、実際は平成29年度と比べてここまでは</p>

	減っていないという認識でよろしいか。
農林水産課	そのとおりである。あくまで計画値であって、実績の数値ではない。
鳥飼委員	それでは、平成 31 年度の目標値はそのままにするのか。
農林水産課	現在は、その目標値で考えている。市の目標値として設定しているので、今後見直しなども含めて検討していく。
鳥飼委員	平成 30 年度の実績とあわせて検討していただきたい。 次に、資料 4 の 40 ページの日本版 C C R C について、平成 31 年度の官民の構想検討会議の開催回数は 1 回ということの数値目標にしているが、現時点ではどのような会議体や構成を考えているか。会議自体は上期なのか下期なのか、どのように考えているかを教えてほしい。
介護福祉課	日本版 C C R C の検討については、市の現状を考えた場合、庁内の部局等の中で、実現性についてまずは検討した中で、次のステップに移りたいと思っている。官民の構想会議はその次の段階と考えている。
鳥飼委員	とりあえずは、庁内における検討は実施するが、官民の構想会議開催については未定ということによいか。
介護福祉課	開催回数は目標数値ということで未定である。
鳥飼委員	次期総合戦略に反映できるよう、開催できればよいと思う。 次に、資料 4 の 47 ページに、管理不全空き家の適正管理の促進とあるが、市全体で管理不全空き家はどのくらいあるのか。
都市政策課	昨年度、水道の閉栓のデータを使用して確認した結果、推定される件数は 144 件であった。
武次会長	ここで休憩を挟み、基本目標 3 の議論に移る。 (休 憩)
武次会長	会議を再開する。
事務局	ここで事務局から連絡させていただく。 市長は所用で 15 時 50 分までの同席とさせていただきたい。 (15 時 50 分 市長退席)
武次会長	それでは、基本目標 3 について質問、意見はあるか。
オノミチ委員	資料 4 の 72 ページにある子どもの学習支援事業について、具体的な内

	容を教えてください。
社会福祉課	生活困窮者自立支援法に基づく事業で、生活保護受給世帯、準要保護世帯、児童扶養手当受給世帯の中学3年生を対象としている。スタート時は、中学3年生を募集し、定員に達しない場合は中学2年生、1年生としていく予定。定員は30名で地域は市内2箇所とし、集合型で実施し、送迎を行う。期間は、7月から翌年の3月末までとし、週1回で2時間程度、途中で休憩を挟み、おやつなどを提供する予定である。
青木委員	資料4の63ページの産後ケアサービス事業について、利用件数が少ないと感じたが、これはまだ広く認知されていないのが原因か。広報ふつつやホームページだけではなく、情報提供される場があればよいと思うが、広報等の予定や考えがあれば聞かせてほしい。
健康づくり課	この事業は、今年度から始め、実績見込みは4件となっている。支援が必要かどうかは、妊娠や出産のときなどに把握しているが、今後はもっとPRをしてこの制度について周知を図り、利用したい方や支援が必要な方の把握に努めていきたい。
鳥飼委員	資料4の50、51及び52ページに結婚を希望する人の縁を結ぶという施策があるが、これまで実施されたイベント等をきっかけに婚姻された方がいるのか。
市民活動推進室	平成30年度から婚活支援事業補助金交付制度を始めたが、今年度はイベントではなく、婚活に向けて髪型や服装をアドバイスするという事業の申込みが1件あった。当室では、イベントで婚姻された方というのは把握していない。
鳥飼委員	資料4の60ページのブックスタート事業について、どのような絵本を贈呈しているのか。
生涯学習課	乳幼児用0歳児から2歳児向けの絵本の中から5冊を選び、その中から希望される本を1冊贈呈している。また、読み聞かせ等も行っている。
鳥飼委員	資料4の70ページの富津の自然、歴史、社会の豊かさ活用事業について、社会科副読本「わたしたちの富津市」は授業等で取り上げられる時間があるのか。また、有効活用されている実績はあるのか。
教育センター	小学校3年生の社会科の授業で、それぞれの市の学習をすることになっている。教科書では特定の市が特集されているが、それは地域の実態に応じてそれぞれの市の学習をすることになっているので、それを手助けするための副読本になっている。富津市の産業や自然、地域などをまとめている。6年生の地域の歴史などでも活用することはできるが、主に3年生の社会科の授業でそれぞれの学校が活用している。

小泉委員	青堀小学校で毎年「浜っ子」という、子どもたちが書いた文集があるが、6年生が書いた作文の中に、4年生のときにいじめられている子がいたと書いている子がいたが、そういう声は学校や教育委員会で拾えているのか。
教育センター	いじめ等の調査は、毎学期、各学校から件数をあげてもらっているが、「浜っ子」の文集の中に、そういった記載があったという報告は今のところ受けていないので、確認する。
島野委員	社会科副読本は、インターネットで公開できるものなのか。印刷物の権利の問題で無理なのか。次の年度のものからは公開できる気がするがいかがか。
教育センター	東京書籍と契約しており、データも東京書籍が所有しているので、ホームページで公開できるかについては確認する。
島野委員	小学生だけに独占させるのはもったいないので、ぜひ検討してほしい。次に、市内のイベントで、子ども食堂やおとな食堂、公民館カフェなど、子どもが多く集まるイベントがあるが、市がもっと協賛することや、お金ではなくても物品貸与など、もっと積極的に考えてもらえると、もっといいイベントになるのではないかと思うので検討してほしい。
子育て支援課	子ども食堂やおとな食堂などの活動は、民間の方が自主事業として実施しているものであり、市にも後援の依頼等が来ている。また、社会福祉協議会も積極的に関わっていて、参加者数も安定し、盛況であるという報告を受けている。今後は、主に子育て世帯にターゲットを絞ったイベント等の企画をしていく。施設整備等を平成31年度に実施するので、そのような施設を活用し、大きな輪を広げていきたいと考えている。
島野委員	ぜひ検討をお願いしたい。共助ということを活用していくことが大事だと思うので、民間の事業であっても、もう少し積極的に市が関与してもよいと思う。
森田委員	農協と一緒に婚活パーティーを年1回ずつ行っているが、5年間で4組くらいのカップルが誕生し、その後結婚した。意外と結果が出ているので、協力したいと思う。
山口委員	資料4の67ページの「親子集いの場（なかよし）」について、どの程度の人 coming しているのか。活動状況を教えてほしい。
子育て支援課	「親子集いの場（なかよし）」は、特に職員が常駐せず、市役所に訪れた子育て親子に、気軽に利用してもらうことを主に設置している。部屋の中に、任意で記入する利用者名簿と、なかよしノートを設置して自由に意見をもらう試みをしている。正確な数値は把握していないが、週3

	日開設し、平均的に2、3組の親子が利用している。
山口委員	市役所まで来るのは大変な人も多いと思う。既存のカフェや企業に設置することも十分可能かと思うので、設置や運営を民間に委託し、68ページにあるような施設に対しては予算を増やした方が利用者も増えるのではないか。もう少し民間施設を活用し、カフェ等におもちゃを貸与して、週1回ワークショップを開くなど、検討してもらいたい。
子育て支援課	意見を参考にしながら、次年度、ワークショップの開催について検討したいと考えている。
島野委員	私の会社では、子連れ出勤トライアルというのが始まり、自分の子どもを連れて出勤し、面倒を見ながら仕事ができる制度があるが、市内でそういうことに取り組まれている事業者がいるのか。
子育て支援課	そのような事業者は把握できていない。
オノミチ委員	放課後児童健全育成事業などについて、例えば、市内の老人憩の家やふれあいシニア館などにおいて、昼間はお年寄りと子どもたちが過ごせる場、子どもが学校から帰ってきてからの時間を児童館として活用する場のようにお互いがふれあえる場所に仕様を変えてもらえるとよいのではないか。選択肢が増えれば暮らしやすいまちにつながると思う。
子育て支援課	多面的な施設の利用方法など、有効活用という側面からも非常に重要なことであるとのことをご意見をいただいたので、関係課と協議をする題材として、取り上げていきたいと思う。
武次会長	これで、基本目標3を終了し、基本目標4の議論に移る。 質問、意見はあるか。
鳥飼委員	資料4の82ページのふるさとふつつ応援寄附について、返礼品の還元率についての報道をよく耳にするが、市では、その還元率についてどのように把握されているのか。
企画課	富津市では、昨年6月29日から、返礼割合を5割以下から3割以下に変更した。 現在、国会で地方税法等の一部を改正する法律案が出されている。まだ可決されていないので、確定とはなっていないが返礼品の基準が設けられる見込みであり、基準を満たす団体をふるさと納税の対象団体として指定するという話である。基準等については、現在入っている情報では4月10日前後に、総務省から詳細な基準が示されるということなので、市としても確認作業を行っていきたい。
鳥飼委員	資料4の92ページ、耕作放棄地の発生防止、解消について、耕作放棄

	地の推移を聞かせてほしい。
農林水産課	耕作放棄地の解消事業もやっちはいるものの、担い手がいないことなどから増えている状況である。市としても、耕作放棄地を減らす施策を推進しているところである。
鳥飼委員	資料4の94ページの淡水魚かい類種苗放流事業について、湊川では外来種の影響はないのか。アユやフナを放流しているようだが、外来種が増えてきたなど状況を聞かせほしい。
農林水産課	湊川漁業協同組合が湊川で放流を行っているが、漁業権をとるにあたって、湊川に生息する魚種の放流をすることが法律で義務化されている。その一環で小学生が放流している。現在アユが減っていて、カワウの被害が増えている状況である。
鳥飼委員	カワウの対策はしているのか。
農林水産課	県と連携してカワウの住処を見つけて、解消する対策を考えている。実際は鉄砲で撃つのが一番効果的であるが、銃猟なので、なかなかできない状況である。
鳥飼委員	資料4の95ページの観光地魅力アップ整備事業について、平成31年度の事業で外国語併記の観光案内看板設置とあるが、具体的にどこの看板か教えてほしい。
商工観光課	観光案内版は下洲海岸、富津公園、市民ふれあい公園、市民の森などに設置している。外国語併記に関して、今までは英語だけだったが、来年度からは多言語に対応する予定である。
小泉委員	資料4の96ページの海水浴場管理運営事業について、現状、富津岬から富津海水浴場あたりは水上バイクやウィンドサーフィンが入り乱れていて非常に危険な状態である。うまく住み分けができればよいと思うが、市が対策する予定はあるか。
商工観光課	5月になると、関係団体と水上バイクを走らせる場所を設定する会議を開き、富津岬周辺の利用に関するローカルルールを決め、広報及び周知を進めている。他の海水浴場については、前々年度、海水浴場に水上バイクが立ち入れないように、条例を制定した。その他、住み分けについては、水上バイク自体を禁止行為とするのは法令上難しいので、ローカルルール等を作っている関係団体と協議しながら、そのエリアについて議論していきたいと思っている。
小泉委員	水上バイクだけではなくて、釣り客が海苔施設を切ってもそのまま逃げってしまう。また、毎年5月から10月に事故で亡くなって海に流れてい

	<p>る方もいる。救助に向かうことも何度もあるので、季節を問わず、注意喚起をお願いしたい。</p>
商工観光課	<p>5月の会議には海上保安庁も来るので、そういった関係団体との会議の中で意見として話をしたい。</p>
森田委員	<p>資料4の88ページについて、今年度、農地取得の下限面積を10aに緩和したが、実感として最近、富津市で就農したいという問合せが増えているような気がする。実際にはどうか。</p>
農林水産課	<p>下限面積を下げたことで、問合せはかなり多くなっている。</p>
森田委員	<p>富津市で就農したい人に対して、あらかじめ将来的に就農できそうな場所を調べておき、問合せが来たときに、紹介できるようなシステムを作るとするのは可能か。</p>
農林水産課	<p>空き家バンク等を利用して、まずは移住してもらい、小規模でも耕作してもらおう。もしくは農業法人等で働いてもらい、近くの農地等を取得し、富津市で就農してもらいたいと考えている。</p>
森田委員	<p>移住するにしても、農業をやれる場所が無いと移住してくるのは難しいと思うので、そのようなシステムがあればよいと思う。また、私は農業委員なので、自分の近くのところについては橋渡しができるが、富津市全体で橋渡しができればもう少し農業者が増えるのではないか。</p>
山口委員	<p>資料4の80ページの廃校について、現在の廃校は、どのような活用がされているのか。今後廃校になる学校の利活用はどういった形で進んでいくのか。</p>
教育総務課	<p>旧関豊小学校は売却されているが、旧環南小学校はまだ売却できていない状況である。平成31年度末で5校が廃校になる予定なので、全庁的に検討し、跡地利用については地元の意見を聴きながら検討していく。</p>
山口委員	<p>旧環南小学校は、現在、購入者を募集している状況なのか。</p>
教育総務課	<p>売却方針などは決まっているので、土地の課題等を整理したうえで、進めていく。</p>
山口委員	<p>その売却の時期は決まっているのか。</p>
教育総務課	<p>未登記用地があるため、その交渉を今年度進めていた。売却時期については、まだ申し上げられる段階ではない。</p>
山口委員	<p>企業誘致奨励制度はまだ行っている制度か。</p>

商工観光課	現在、市ホームページ等で周知している。対象は、企業の従業員数が10人以上で、投下固定資産額が1億円以上の業者等が要件である。
鈴木（裕）委員	外国人やスポーツ目的の観光客の受入態勢の強化について、2020年のオリンピックやパラリンピックについて市でこれから取り組んでいくことはあるのか。
商工観光課	今後、ファミトリップなどを実施し、事業者に観光地を見てもらい、情報発信をしていただき、海外の人にも見てもらうことを進めている。また、ガイドマップやフツツアーについて、多言語版をホームページに掲載しており、今後は外国語版を増刷する予定。今後の課題として、空港に置いたらどうかと外国人のブロガーから提案いただいているので、検討していきたい。
島野委員	ふるさと納税について、返礼品として体験型の観光を拡充する予定はあるのか。
企画課	現在もふるさと納税の返礼品として、体験型の返礼品は掲載している。富津市の良さを知っていただく、また、他団体との差別化を図る上でも、今後も引き続き、開拓に力を入れていきたいと考えている。
島野委員	就農支援の話があったが、農業体験は現在メニューにあるのか。
企画課	現在のメニューにはない。
島野委員	森田農園さんはいかがか。
森田委員	現在、東京の人を呼びメロンを交配してもらい、そのメロンが成熟したら贈るということを試みとして行っている。その途中の育ち具合をLINEなどにあげて見てもらうというのを考えているが、マンパワーの問題もあるが、将来的に検討してみたいと思う。
島野委員	富津市のオープンデータを公開させてもらった。市の職員が積極的に取り組んでくれたので、予想以上の数が公開できたと思っている。見た人の反応は好意的な反応が多かったのと、大学の先生からはそういうコネクションがあるのであれば、大学生の卒業研究で使えないのかと提案をいただいている。うまくいけば、市の職員が楽できるようなシステムを大学生が作ってくれるかもしれないし、そんな風に活用できればいいなと思っているので、引き続きお願いしたい。
経営改革推進課	島野委員には富津市ICTアドバイザーとしてオープンデータの公開に多大なご協力をいただきました。今後の展開は、データをできるだけ増やしていければよいと考えているので、委員にも相談させてもらいながら進めていきたい。

武次会長	基本目標4については、終了する。 基本目標1から4までを通じて質問はあるか。
鈴木（裕）委員	実行計画書からP D C Aを読み取るのが難しい。P D C Aを活かす仕組みを考えた方がよい。有意義な会にするにも、検討してほしい。
企画課	課題の1つとして承知している。次期総合戦略の策定に来年度から本格的に取りかかり、その中でK P Iの設定をしていくが、随時進行状況が確認できるような形にしていくのが重要であると考えている。また、現総合戦略の評価は、来年度、最終年度を迎えるので、平成31年度実績報告という形で、検証作業は必須であると考えている。
島野委員	次期総合戦略は、K P Iの設定もさることながら、目標に対して施策が適切かどうかを検討することが必要だと思っている。K P Iがアンケート結果となりがちなので、もっとわかりやすい定量的な目標が設定できたらよいと思う。皆さんと検討していきたい。
鈴木（文）委員	閉校になる小学校がいくつかあるが、閉校後には避難場所ではなくなってしまうのか。
防災安全課	基本的に指定している避難所は公の施設であるため、体育館は指定している。仮に民間の施設になった場合も、できるだけ避難所としての機能を残したいと思っており、現に旧関豊小学校は民間移譲しているが、引き続き避難所として指定している。
鈴木（文）委員	できるだけということは、絶対ではないということなのか。避難所ではなくなった場合、他の対策は何か考えられるのか。例えば、私の住まいは竹岡だが、竹岡小学校が避難所でなくなったら地域は困ってしまう。
防災安全課	避難所は、大規模災害時に自宅に住めなくなった場合に一時的に生活する場であるため、今後の利活用によっては、体育館が使えなくなる場合もあると思う。その場合、代わりになる施設を検討する必要がある。また、以前に指定から外した施設や区の所有であっても、改修や新設により耐震性が満たされるところもあると思うので、検討し、対応していきたいと考えている。
鈴木（文）委員	例えば、震災のときに、竹岡のコミュニティセンターは国道より浜側にあるので、体育館へ避難するよう指示があった。その体育館がなくなってしまうと心配なので、ある程度の場所の確保は考えていただきたい。
防災安全課	地元の意見も聴きながら今後検討していくが、現在避難所となっている場所も含めて検討されるものだと思っている。
武次会長	以上で議題（2）を終了する。

	<p>続いて、議題（３）その他について、事務局から説明を求める。</p>
事務局	<p>鳥飼委員から、ご都合により、本年３月末をもって富津市創生会議委員を退職したいとの申し出があったことを報告する。 鳥飼委員挨拶</p>
武次会長	<p>委員の皆様方から、何か質疑、意見はあるか。</p>
委員	<p>特になし</p>
武次会長	<p>それでは、（３）その他について終了する。 本日の会議内容については、会議録の確定をもって取りまとめさせていただきます。 それでは、以上をもって全ての議題を終了する。 進行を事務局に返す。</p>
事務局	<p>5 閉会 小泉副市長挨拶</p> <p>(終了時刻 午後４時３０分)</p>

以上